

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
1 伊勢市	対談項目1 防災対策の支援	南海トラフ地震対策にかかる市町支援について 高知県の例について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県は「新地震津波対策行動計画」を策定して、きめ細やかな対策をしていただいています。</li> <li>・高知県の災害支援のあり方を三重県でも作っていただけないか、要望したいと思っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県のマニュアルは、国のマニュアルに若干手を加えて作られたものと聞いています。</li> </ul>
2 伊勢市	対談項目1 防災対策の支援	県の支援について (県として統一した基準の策定、県営施設の災害時における位置付けの統一化、交付金の創設、津波避難タワー設計の手引の作成について)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要援護避難者の名簿の作り方、障がいのある方のサポートのあり方、防災施設のあり方等について、市町が独自に頭を悩ませて構築して対策をしている状況です。</li> <li>・津波避難施設の建設に係る技術的支援をお願いします。</li> <li>・防災施設の財政的支援をお願いします。</li> <li>・市町を越えた広域での課題(避難情報の発令のあり方や要援護者の台帳、生活支援等)への支援をお願いします。市町の連携の在り方(医療のネットワークや防災資源の可視化等)についてのテーブルを構築して情報交換させていただきたいと思っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津波避難施設に係る技術的支援については、県としてはまず、「避難所運営マニュアル」や「Myまっぷラン」による「津波避難に関する三重県モデル」といった自助公助についてのマニュアルを先行させたいと思っています。技術支援については、市町の皆さんの意見を聞きながら考えていきたいと思っています。</li> <li>・財政支援については、「地域減災力強化推進補助金」があるので、市町の実情やニーズを見ながら、補助金の見直しをしていきたいと思っています。</li> <li>・広域課題への支援については、南勢志摩管内や伊勢志摩定住自立圏の枠組み等で情報を共有するようなテーブルを構築していきたいと思っています。</li> </ul>
3 伊勢市	対談項目2 医療体制の充実	医師・看護師確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立看護大学の地域推薦枠の緩和と受入をお願いします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推薦入試については、評定平均値を4.5から4.3に見直したところなので、今後、成果を検証しながら必要な取組を行っていきます。</li> </ul>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
4 伊勢市	対談項目2 医療体制の充実	新病院建設に対する支援	<p>・新病院の建設にあたり、医療施設耐震化基金の増額支援と、建設費の高騰に対応できるように交付税算定の見直しを国に要請していただくようお願いします。</p>	<p>・平成20年に出された「公立病院に関する財政措置のあり方等検討会報告書」により、病院建物の建築単価が一定水準を上回る部分について、普通交付税の措置対象から除外されているところですが、昨今の建設費の高騰等からも、国の財政措置の拡充について、今年11月の国への提言・提案の中に盛り込んでいきたいと考えています。</p> <p>・また、医療施設耐震化臨時特例交付金の継続についても、提言の中に盛り込んでいきたいと考えています。</p>
5 伊勢市	対談項目2 医療体制の充実	新病院がめざす医療機能を反映した地域医療ビジョンの策定	<p>・来年度の地域医療ビジョンの策定については、災害対策の視点を盛り込んでいただきたいと思っています。</p>	<p>・地域医療ビジョンを策定するにあたっては、病床コントロールだけでなく、自治体、学識経験者、病院関係、医師会の皆さんとの協議の場を地域ごとに設けて、検討していきたいと考えています。</p>
6 伊勢市	対談項目2 医療体制の充実	災害拠点病院取得に対する支援	<p>・DMATの隊員養成機関が東京と兵庫にしかないため、中部地区に養成機関を誘致していただきたいと思っています。</p>	<p>・DMATについては、今、県で13医療機関18活動可能チームがあります。今後も増やしていく必要があることから、研修受講を希望する医療機関に対して受講機会を確保することについて、11月に行う国への提言・提案の中に盛り込んでいきたいと考えています。</p>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
7 伊勢市	対談項目3 主要地方道伊勢磯部線の事業着手		<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時には、通称「御木本道路」が伊勢自動車道とともに基幹道路になると考えていますが、未整備区間がまだ50%程残っています。</li> <li>・今、未完成で休止状態になっている区間について、再度事業着手をお願いします。</li> <li>・また、最近レンタルサイクルの利用が増えてきているため、「御木本道路」事業着手の際には、通行しやすいように電柱の地中化についても考えていただきたいと思っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「御木本道路」については、用地交渉が難航したため、平成14年度に事業を休止しているところです。</li> <li>・20年後の遷宮を見据え、伊勢市内の道路のネットワークのあり方について検討を進めていきたいと考えています。</li> <li>・まずは、国体に向けて、館町通線の改良工事で県営総合陸上競技場への円滑なアクセスを目指して事業を実施していきたいと考えています。</li> <li>・自転車観光については、県土整備部の道路担当部局の中で担当をしていますが、中長期的な観点で検討していきたいと考えていますので、ぜひ色々な事例を教えてくださいと思っています。</li> </ul>
8 伊勢市	対談項目3 主要地方道伊勢磯部線の事業着手	交通安全施設整備について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全の施設整備についての予算の拡充をお願いします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路標示については、毎年時期を決めて集中的に点検することとしています。この点検結果や、地域の要望にも基づき、予算の確保については努力していきたいと考えています。</li> </ul>
9 伊勢市	対談項目4 第27回全国菓子大博覧会・三重の成功に向けた取組		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミラノ博覧会の情報発信についての知事のお考えをお聞かせいただきたいと思っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年のミラノ、できれば翌年の関係閣僚会議、菓子博、三重国体等で、三重県の「食」を売り出していけるよう、皆さんと協力してやっていきたいと思っています。</li> </ul>